

風水害から命を守る

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

風水害対策の基本は情報収集

まずは、
確実な情報が大事
その次に迅速な対応



強風注意報・暴風警報

強風注意報:

平均風速が13m/sと予想される場合

暴風警報:

平均風速が18m/sと予想される場合

大雨注意報

大雨によって重大な災害が起こる
おそれがあると予測される場合。

・1時間に雨量が40mm以上

大雨警報

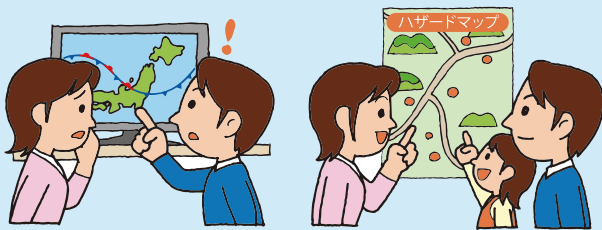
大雨によって重大な災害が起こる
おそれがあると予測される場合。

・1時間に雨量が80mm以上

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発表されます。

住民の行動

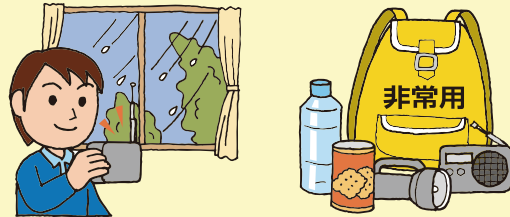
気象情報・空の変化に注意



- ・周りより低い場所など、危険箇所を把握
- ・避難場所や避難ルートを確認しておく



最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備を
雨・風の影響を受けやすい地区・避難困難者は
早めの行動！



- ・気象情報や外の様子に注意
- ・非常用品や避難場所、避難ルートを確認
- ・窓や雨戸など家の外の点検

自治体が発表する避難に関する情報に
注意し、必要に応じ速やかに避難



ただちに命を守る行動をとる！

避難場所へ避難するか、外出することが危険な場合は家の中で安全な場所にとどまる



「住居の位置」や「住居の構造」、
「既に浸水が生じている状況なの
か否か」によって「自宅外避難」
の必要性は異なりますので、冷静
な判断が重要です。災害から命を
守ることができる行動を考えてお
きましょう。

※気象庁 HP より一部を抜粋して掲載

地下道(アンダーパス)に注意！

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。地域のアンダーパスの場所を把握し、もしもの時に備えて迂回路を想定しておきましょう。普通自動車の場合、約30cmの浸水で走行困難になります。